

# 民俗風情

〈高知県立歴史民俗資料館だより・おこうふうじつ〉 第110号 令和2年(2020)7月20日



獅子金



ほうこさん



赤べこ

山崎茂氏寄贈郷土玩具コレクションより

**赤べこ (福島県)** 会津若松市の張り子。「べこ」は東北弁で牛のこと。圓蔵寺(えんぞうじ)のお堂を建て直すときに現れ、材木を運んで人々を助け、完成後は境内で石像になってお堂を守った牛の伝説から生まれたとされる。

**獅子金 (埼玉県)** 鴻巣の赤物の、獅子頭をかぶった金太郎。桐の箆笥などを作るときに出る大鋸屑(おがくず)を正麩糊(しょうふのり)で練り固め、疱瘡除けや魔除けとされる赤い色で塗られている。

**ほうこさん (香川県)** 高松張り子。姫の熱病を引き受けて島流しになった奉公さんの伝説があり、ほうこさんを子どもに抱かせた後、海に流すと病気が治るとされた。

## 資料見聞

### 疫病退散の

### 郷土玩具

古代より朱は魔除けなどに使われていた。福島県の赤べこや鴻巣の赤物など、郷土玩具にも赤い色で塗られたものが多くみられます。赤は疱瘡(天然痘)神が好む色とされ、子どものそばに赤い玩具を置けば疱瘡神が玩具にひかれ、疱瘡が軽く治るとの俗信がその由来ともいわれています。医療が発達していなかった時代は疫病神が病気をもたらすと考えられ、疫病神に見立てた人形を川や海に流し、疫病神除けの玩具を身近に置きました。郷土玩具には、その名残がみられます。江戸時代の終わり頃、コロリ(コレラ)が流行すると大坂の道修町では薬問屋が虎の骨で薬を作り、同町の少彦名神社では「神農の虎」の張り子が授与されるようになるなど、医療と民間信仰の相補的な関係もうかがえます。現代は以前に比べて医療が発達しましたが、新型コロナウイルス感染症が未だ終息しない中、疫病退散の妖怪アマビエが流行しています。アマビエの絵がSNSに投稿され、酒のラベルや和菓子などになっています。郷土玩具も白河だるまや高崎だるまの産地でアマビエだるま、津軽系や弥治郎系こけし工人のアマビエこけし等が続々誕生しています。郷土玩具は、もともと疾病除けなどの祈りをこめつつ、絶妙な遊び心で作られたものが多いので、アマビエとの相性も良いのでしょう。(中村淳子)

# コーナー展 疫病退散

梅野 光興

令和2年は新型コロナウイルスの猛威が世界を席巻しました。私たちに

とっては、初めての経験ですが、幕末のコレラをはじめ、明治時代にも何度か疫病の流行がありました。その時、土佐の人々は流行病にどのように対処してきたのでしょうか？このコーナー展では、歴史資料や郷土玩具を展示してそのことを考えてみたいと思います。

展示資料の中からいくつかご紹介しましょう。

『真覚寺日記』は、宇佐町（現土佐市）の僧侶・静照が安政地震以後の出来事を書いた日記で、安政5年（1858）から7年（1860）にかけて流行したトンコロリ（コレラ）についても克

文政武巳四月  
肥前平戸へ上ル  
此姫魚竜宮之勅命を  
うけて此処に浮ヒ出たり  
今年右（より）七ヶ年の間々  
大豊年つゞき候け共  
コロリト病死流行諸  
人大イニ悲ミ煩ふ二付  
わか姿を画テ見たる  
人は其病をマアガレル  
ト云テ沖中へ入たる也  
身ノ長サキ丈六尺  
カラタ廻り五尺六寸  
髪ノ長サキ丈六尺

姫魚 西尾学氏蔵 当館寄託  
この絵は手書きなので、元は瓦版だったのを書き写したものか。

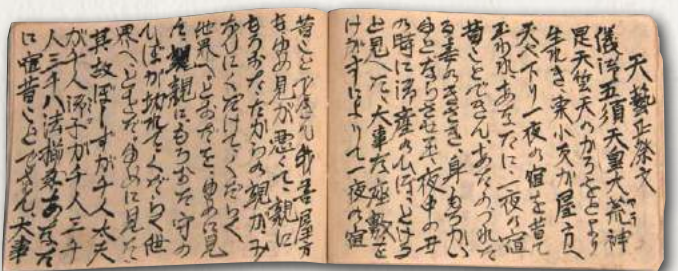


参考 アマビエ（京都大学附属図書館蔵）

明に記しています。玄関にヤツデの葉をつるしたり、「この家をよけて通れよトンコロリ、大師この世にあらん限りは」という歌を紙に書いて貼るなどコレラ除けのさまざまなおまじないが行われたことがわかります。五月節供の職の音で悪疾は退散するというので各家で季節外れの職を立てたり、3年たつと病気は収まるといううわさが広まり、7月なのに門松を飾ったり、どこか滑稽のようですが、それだけ人々が不安にいられたということでしょう。

変わっているのは人魚のような姿の「姫魚」の絵です。文政2年（1819）に現在の長崎県平戸市の海に全長が4mもある、顔は女性で体は魚の姫魚が現れました。そして自分の姿を描いて見ればコロリ（コレラ）を免れると言つて再び海に没したそうです。病気がはやつた時に売られたり描き写されたりしたようです。最近、コロナ退散を願つて弘化3年（1846）の瓦版に登場するアマビエという妖怪が注目されていますが、姫魚はその仲間です。祖先が庄屋だった西尾学さんの家に伝えられていました。

香美市物部町の民間信仰・いざなぎ流には、流行病の神様の物語「てんげしょうの祭文」が伝えられています。「てんげしょう」は夫婦で旅をしており、欲待してくれた「しよみん」一家の命は奪いませんが、冷たくあしらつた「こたん」の家に襲いかかります。「こたん長者」は、大勢の太夫や坊主を集め、家に病気が入らないように懸命に祈禱を行います。一寸の間隙から病気は侵入し、結局滅びてしまいます。たとえ病気の神様であっても、手厚く祭ることで逆に守ってもらおうという信仰があることがわかります。



天藝正祭文 森安幸光氏蔵  
祇園牛頭天王夫婦が諸民（蘇民将来）の家に泊まり、病気の神・天藝正が生まれる。宿を断つた「こたん」の一家は病気になってしまう。

# 足元の歴史や文化を振り返ろう

令和元年11月に中国湖北省武漢市で

最初の症例が確認された新型コロナウイルスは、日本では令和2年1月初

の感染者が確認され、以後次第に増え続け、今年7月に開幕を予定していた

東京オリンピックも延期が決定し、日本全国に緊急事態宣言が発せられました

た。学校が休校や遠隔授業になり、デパート、映画館が臨時休業、鉄道や飛行機も減便され、在宅勤務で家に閉じこもる人が増えました。

県境を越える不要不急の移動はやめるようにということで、県外からの観光客はめっきり減りました。私たちも

遠出がためらわれます。

そんな時は足元の町や村を訪ねてはどうでしょう？私もゴールデンウィークに家の近くを歩いてみました。

山すそに点在する神社や、道ばたのお地藏さんや金比羅灯籠こんびらとうろう。昔の水路の

あとと思われる蛇行した道など、歴史のなごりはあちこちに残っていました。

国土地理院の地形図に出ている社寺のマークを目当てに行けば散歩の目標も生まれて楽しいですよ。昔話集でエン

コウやタスキが活躍した場所が、コンクリートで護岸された川になっていた

り、住宅地になっているのを見るのは

感慨深いものです。

家にいる時間が増えたので、片付けをしているという方も多いのではないのでしょうか？断捨離の絶好の機会です。けれども博物館関係者はハラハラしていま

す。これまで保管されてきた歴史資料や文化財が失われるかも知れないからです。

当館も属しているこうちミュージアムネットワークでは、歴史・文化・自然史などの資料に関しては捨てる前に

ご相談をと呼びかけています。有名人や歴史上の重大事件の資料ばかりでなく、皆さんの家や地域や学校、職場など過去の歴史の記録や道具は歴史資料になる可能性があります。

先日は漁師さんの家で平成時代の毎日の出漁の記載がある日記を見せても

らってびっくりしました。100年、いや50年残せたらすごい記録です。

納屋を片付けていたら農具が出てきたという方に写真をお持ちいただきました。田を耕す犁すき（高知県中東部では牛鍬と呼びます）は、江戸時代の伝統を引く在来型でした。近代になると改良型が普及したので、在来型はあまり残っていません。当館でも1、2点しか無い貴重なものです。

スペースの関係で、必ずしも当館で集めることはできませんが、地域の歴史や文化を伝える資料を県内のどこかに保存できればと切に思います。

新型コロナウイルスが広がるマイナスの状況を、少しでもプラスに変えていけたら良いですね。

（梅野）



## 新任のご挨拶

館長 福田道則

この4月に7代目の館長を拝命いたしました。平成21年から23年にかけてまして本県の文化行政の担当課長を務めておりました縁でお世話になっております。どうぞよろしくお願いいたします。

当館は、本県の歴史・考古・民俗・美術工芸を広く紹介するために、各時代の特徴的事象を取り上げて総合展示しております。これに加え、当館が立地しております国史跡・岡豊城跡の城主であった長宗我部氏一族の誕生から滅亡までの研究成果を紹介する特別展示も行ってまいります。

現在は新型コロナウィルス感染防止で活動が制限されておりますが、講演会・講座・体験学習の開催など教育普及活動にも力を注いでまいります。

また、岡豊山からは、紀貫之邸跡をはじめ歴史を湛えた「まほろばの里」が望め、山道の花々や緑とともに癒しの時を過ごしていただけます。

歴史の国・土佐の魅力を身近に感じていただける取り組みを進めてまいりますので、どうぞ当館へお越しください。お待ちしております。



## 新任のご挨拶

総務事業課長 野中浩二

この4月から総務事業課長を務めさせていただきます。当館が、郷土の歴史・考古・民俗・美術工芸の分野の多様な資料の調査研究、展示、県民の皆様が散策しながら憩うことのできる場という目的を果たしていけますよう、微力ではありますが全力を尽くしてまいります。

新型コロナウイルスのため、多くの皆様が楽しみにして下さっている岡豊山さくらまつり、れきみんの日、長宗我部フェスが今年は残念ながら中止となりました。一か月間の臨時休館の後、5月11日からは感染症対策を講じながら開館し、皆様のご来館をお待ちしています。

コロナ禍の一日も早い収束を願いますとともに、長宗我部氏ゆかりの地であります当館と岡豊山歴史公園にお越しいただき、郷土の歴史と岡豊山の豊かな自然に触れていただきますようお願い申し上げます。

# 2020年7月～2021年3月の催し

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当館は3月6日～3月22日と4月10日～5月10日の2度にわたり休館いたしました。そのため3月8日までの企画展「遠流の地 土佐」と3月15日までのコーナー展「おひなさま」は3月5日に終了。企画展「蹊跎山金剛福寺」の会期は4月24日～6月28日を5月11日～7月19日に変更し、講演会やミュージアムトークなど関連企画も中止が相次ぎました。今後も状況により変更になる場合がございます。最新情報は当館ホームページやSNSでご確認ください。

## 7・8月にはじまる催し

休館直前ラストスパート！  
れきみんならではの展示やイベントをお楽しみください。

岡豊フォトコンテスト  
第15回作品募集  
7月2日(木)～10月18日(日)  
テーマ：「岡豊山の春夏秋冬」



2020カレンダー  
作品展示：令和3年3月(予定)

コーナー展「疫病退散」  
7月4日(土)～9月6日(日)



神農の虎(大阪府)

れきみん！ サマーミュージアム  
8月1日(土)～8月23日(日)  
スペシャルプログラムday 8月8日(土)・8月16日(日)

企画展「土佐人 山本忠興と近代オリンピック」の延期にともない内容を刷新！「教えて！学芸員」や「クイズに挑戦！」、コーナー展「疫病退散」にちなんだ「姫魚ってなんだ？」などを開催します。スペシャルプログラムdayは学芸員のミュージアムトークなどを企画しています。



姫魚(部分) 西尾学氏蔵

## 休館中も、おいでよ！岡豊城跡&山村民家

令和2年9月7日～令和3年2月28日(予定) 耐震工事のため休館

休館中も岡豊城跡や山村民家をご覧いただけます。限定企画もご用意してお待ちしています。

岡豊城跡をめぐる 土佐の七雄スタンプラリー  
9月11日(金)～令和3年2月28日(日)

※**荒天中止** ※年末年始(12月27日～1月1日)を除く

歴史館が**休館**…と、がっかりしないでください！その間は、ゆっくり「国史跡・岡豊城跡」を楽しみましょう。岡豊城跡は、戦国武将・長宗我部氏の居城跡で、四国の戦国期城郭を代表する史跡です。長宗我部氏が15年かけて土佐を統一し、さらに四国制覇を目指した…そんな時代に思いを馳せながら史跡をめぐり、城下を眺め、スタンプを集める。そして記念品の「**御城印**」をぜひ手に入れてください！

- スタンプラリーは**参加費無料**。
- 史跡内の解説看板など8カ所が「土佐の七雄」スタンプポイント。
- まずは、山村民家でスタンプ台紙とリーフレット(マップ)を手に入れよう！



岡豊城跡の碑

休館中の山村民家(登録有形文化財 旧味元家住宅主屋)

津野町から移築した「天保三年」(1832)の銘がある茅葺きの民家です。田舎のおじいちゃん、おばあちゃんの家のような、なつかしい佇まいに、ほっこりです。休館中はさまざまな行事の会場になり、れきみんの職員がおります。ふらりと訪ねて、おくつろぎください。

- 土佐の七雄スタンプラリー スタート&記念品お渡し会場**  
9月11日(金)～令和3年2月28日(日) 9:00～16:30
- 土佐のまほろばウォーク** 「れきみん」とまほろばクエスト  
9月19日(土) / 10月25日(日) / 令和3年1月27日(水) / 2月21日(日) の回はウォークの後に「ちくちくと休んで、山城(麒麟) 談義でもしていくかよ」をお楽しみに！(要予約)
- ワクワクワーク**
  - 「土佐和紙漆喰張り子 うしの絵付」講師：草流舎  
10月3日(土) 13:30～15:00  
参加費：1,500円(要予約)
  - 「障子はり」  
11月7日(土) 10:00～12:00



山村民家

岡豊風日(おこうふうじつ) 第110号  
令和2年7月20日  
編集・発行 (公財)高知県文化財団  
高知県立歴史民俗資料館  
〒783-0044 南国市岡豊町八幡1099-11  
TEL 0888(862)2211  
FAX 0888(862)2110  
開館時間 午前9時～午後5時  
休館日 年末年始(12月27日～1月1日)  
耐震工事休館 9月7日  
令和3年2月28日(予定)

観覧料 (通常展)大人(18才以上)470円  
団体(20名以上)370円  
無料…高校生以下、高知県及び高知市長寿手帳所持者、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳所持者とその介護者(1名)

印刷・川北印刷株式会社

http://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/~rekimin/  
Eメール：rekimin@kochi-bunkazaidan.or.jp

## 再開 令和3年3月1日(予定)

延期になった企画展が満を持して登場します。

企画展 やまもとただおき  
**土佐人 山本忠興と近代オリンピック**  
次回 3月26日(金)～5月16日(日)

1940年オリンピックの招致活動に関わり、早稲田大学競走部監督として多くのオリンピックを育成した山本忠興(高知県南国市出身)。彼の功績を紹介し、日本の近代オリンピックの歴史をひもときます。山本忠興写真 早稲田大学大学史資料センター所蔵



コーナー展 えと  
**干支の玩具 丑**  
次回 3月1日(月)～4月11日(日)(予定)



(香泉人形  
高知県)